

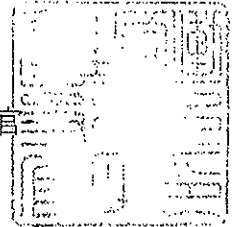
写 1

厚生労働省発人第0523005号

平成15年5月23日

各都道府県知事 殿

厚生労働事務次官



春秋褒章候補者の推薦について

多年にわたり自ら進んで社会に奉仕する活動に従事し又は業務に精励し又は厚生労働関係事業に尽力し、その功績が特に顕著と認められる者に対する「春秋褒章候補者推薦要領」を別紙のとおり定めたので、平成15年秋の褒章からこの要領に基づいて候補者を推薦されたい。

なお、平成13年3月6日付厚生労働省発人第176号厚生労働事務次官通知「春秋褒章候補者推薦要領」は廃止する。

春秋褒章候補者推薦要領

春秋褒章（緑綬褒章、黄綬褒章及び藍綬褒章）候補者の推薦は、この要領によるものとする。

1 推薦基準

(1) 緑綬褒章関係

自ら進んで社会に奉仕する活動に従事し徳行顕著な個人又は団体で当該事績に関する大臣表彰受賞者であること。

(2) 黄綬褒章関係

ア 業務（生業）におおむね20年以上精励し、衆民の模範と認められる者であること。

（ア）厚生労働関係分野で優れた事績を上げ、当該事績に関する大臣表彰受賞者

（イ）身体障害者であってよくその障害を克服し、社会生活を継続して営んでいる者で優れた事績を上げ、当該事績に関する大臣表彰受賞者

イ 労苦の多い分野の業務におおむね20年以上従事した者で優れた事績を上げ、当該事績に関する大臣表彰受賞者であること。

(3) 藍綬褒章関係

ア 社会福祉、保健衛生、社会保険、労働行政、労使関係安定その他厚生労働関係分野の事業に関し、公共の福祉等を増進し、優れた事績を上げた者であること。

イ 原則として65歳までの者であること。

2 推薦に当たっての留意事項

(1) 候補者の選考に当たっては、社会的知名度等に偏ることなく、広く各界各層から幅広く選考すること。

また、女性候補者の積極的な推薦を行うこと。

(2) 年齢及び事績内容から判断して、叙勲がふさわしいと認められる者については、原則として春秋叙勲の対象とすること。

(3) 公務員としての経歴は黄綬褒章及び藍綬褒章の対象としていないこと。公務員であった者が黄綬褒章を受けるには、民間に移った後の受章に値する功績がおおむね20年以上、又、藍綬褒章を受けるには、民間に移った後の受章に値する功績がおおむね15年以上にわたることが必要であること。

(4) 経歴、賞罰事項は、慎重かつ詳細に調査するとともに罪を犯した者、犯罪容疑者、経営上の欠陥や社会的非難のある者等国民感情にそぐわない者を推薦することのないよう注意すること。

3 推薦人員

(1) 厚生関係の推薦人員は、年間を通じて次に掲げる数以内とし、春秋別の推薦人員については別に定める。

なお、緑綬褒章、黄綬褒章及び藍綬褒章それぞれ一名に限り補欠候補者を提出できること。

褒章の種類 都道府県区分	緑綬褒章	黄綬褒章	藍綬褒章
人口200万人未満	1人又は1団体	1人	1人
人口200万人以上 500万人未満			上記人員に人口200万人を超えることに1人加算
人口500万人以上	上記人員等に人口500万人を超えることに1人又は1団体加算	上記人員に人口500万人を超えることに1人加算	

(2) 労働関係の推薦人員は、従来どおり特に制限はない。

4 推薦期日

内閣府賞勲局に協議書類を提出するのは、毎年春（4月29日発令）にあつては前年の11月15日、秋（11月3日発令）にあつてはその年の5月15日までに行い、特に平成15年秋の褒章に係る書類の提出は、平成15年5月30日までに行うこととなっているが、当省への推薦期日は別に通知する。

5 協議書類

協議書類は次のとおりとし、(2)から(7)の順に右とじにして提出すること。

ただし、(8)褒章審査票はとじこまないこと。

- | | |
|---|------|
| (1) 公文書（緑綬褒章、黄綬褒章、藍綬褒章ごとに候補者の氏名、推薦順位を記入すること。） | 1部 |
| (2) 功績調書 | 2部 |
| (3) 履歴書 | 2部 |
| (4) 市町村長の発行する刑罰等調書（民事及び刑事関係（道路交通法関係をむ）） | 原本2部 |
| (5) 戸籍抄本 | 原本2部 |
| (6) 団体の規模及び事業概況等調書 | 2部 |
| 事業所概況調書 | 2部 |
| 施設の規模等及び事業概況調書 | 2部 |
| (7) 定款、寄附行為、規則、統計、刊行物、著書、論文、目録等功績を判断する上で参考となる資料 | 2部 |
| (8) 褒章審査票 | 原本1部 |

6 異動報告

書類提出後本人の身上に異動があつた場合には、直ちに報告すること。

7 その他

書類作成に当たっては、本籍、現住所、氏名（書体、ふりがな）、前叙及び現職名について、特に正確を期すこと。